



平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

【北九州市】

1 実践テーマ	【II・V】
2 実施対象者	北九州市立花尾小学校 1～6年生 19クラス 534名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ①教科名（生活科・総合的な学習の時間、体育科）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界に通用する挨拶やおもてなしの仕方を知り、グローバルな社会で生きていく素地を培う。 ・ 国際人として必要なマナースキルを学び、相手の文化や習慣を尊重しつつ、臨機応変な対応ができる判断力と実際のグローバルマナーを身に付ける。 ・ 日頃あまり体験することのないスポーツに触れることにより、困難さとできるようなった嬉しさを感じることができるようにする。
5 取組内容	<p>○ 日本人のおもてなしの心について、江上先生のキャビンアテンダントとして体験したことや感じたことについての話を聞く。</p> <p>《子ども目線で優しく話をしてくださいました》</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>T：「お名前は何ですか。」 「〇〇君ですね。」「〇〇君、おはようございます。」</p> <p>C：「おはようございます。」</p> </div> </div> <p>《あいさつをする時のポイント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表情について <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>T：挨拶をする時には、明るい表情で、相手の目を見ることが大切です。表情を作るポイントは目と口角です。</p> <p>C：笑顔で挨拶をしてもらった方が、うれしい気持ちになる。</p> </div> </div>

- 態度について



T: また、顔の表情だけでなく、姿勢よく、胸をはり、視線を上げてすることも大切です。

C: きちんとした姿勢で挨拶をされると、とても清々しさを感じることができます。

- 名前を呼んで挨拶

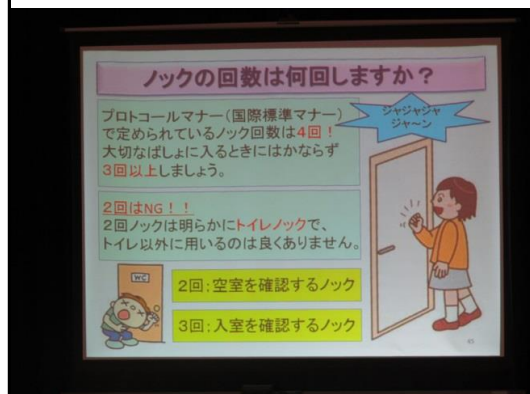


T: 「おはようございます。」だけでなく、「〇〇君、おはようございます。」と挨拶する方が親しみを感じます。

C: 名前を覚えてもらえていることは、とてもうれしく感じると思います。

《グローバルな視点から》

- ノックの回数は？



T: 日本人は、部屋に入るときに2回ノックをしますが、外国で2回のノックは、トイレに入る時になります。

C: ノックの回数の意味をもっているなんて知りませんでした。これからは気を付けたいと思います。

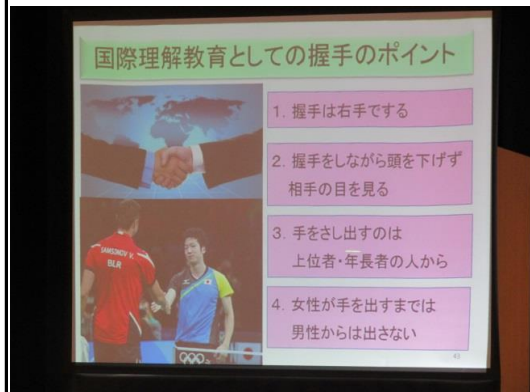
- 日本人には抵抗のあるハグ



T: 日本人には少し抵抗がありますが、ハグはグローバルなあいさつです。

C: 同性の人ならそこまで抵抗はないけど、異性はかなり抵抗がありますね。

- 握手で挨拶をする時にポイント



T: 挨拶で握手をしますが、握手をするには左のようなルールがあることを知ってください。

C: 今まであまり気にしたことがなかったけれど、これからは意識するようにします。

- 名前を呼んで挨拶



T: 中には、握手をするという習慣がない人々があります。いろいろな国の習慣を学ぶことも大切です。

C: いろいろな国の人達との交流が増えてくるので、事前に国の風習等を調べることも大切ですね。

- 日本では当たり前でも・・・



T: 日本人は、両手を添えて握手をしますね。より丁寧という意味でしょうが、外国の方には理解できないことです。

C: 当たり前に行っていることが、世界には通用しないことがあることを知りました。

- 日常生活でのコミュニケーション



T: 昔は、会話をしながら品物を買ってました。感謝の気持ちを伝える機会が今より多かったような気がします。

C: コンビニは、何も話さなくても買い物できるよね。これからは、できるだけありがとう等感謝の気持ちを伝えます。

《実演を通して》

- ・ お辞儀をするポイント



T：ありがとうございましたと心の中で言いながら、ゆっくり体を傾けます。目線を上げることはしません。

C：お辞儀の仕方一つで気持ちがとてもよく通じてくる感じがしました。

- ・ 握手をする時は、相手の目を見て



T：頭を下げることなく、相手の目をしっかり見て、軽く2～3回振ります。どうですか？

C：目を合わせることで気持ちが通じ合えたような感じがします。気持ちもいいですね。

<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ よりよいあいさつの仕方を知ることにより、立ち止まってあいさつをしたり、しっかり目を見てあいさつをする児童が増えてきた。 ・ 握手やノックについての世界のマナーを知ることによって、日本のやり方が世界中どこでも通じるものでないこと、それに世界には多様な文化があることを実感させることができた。 ・ 気持ちのよいおもてなしをするには、心の中に人を思いやる心が必要であり、またそれを伝えるコミュニケーションが大切であるということを実感させることができた。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演会開催の前にオリパラのマスコット投票に参加し、児童達のオリンピック・パラリンピックへの興味関心を高めた。 ・ オリンピック・パラリンピックのために日本にたくさん海外の人達が来るようになるということから、よりよいおもてなしの仕方を学ぶ必要感を感じさせた。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の講演会で学んだあいさつの仕方やおもてなしの心について、意識を持続させることが難しい。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリンピック種目にある体育科学習の領域については、オリンピック選手が実際に競技をしている姿を見せたり、記録を比較させたり、オリンピックに関連付けて学習を進めていく。